

福富に住もう

生徒 第1学年11名 第2学年19名 計30名

授業者 中川 雄貴, 木本 麻衣, 内藤 律充, 藤井 莉穂
飯垣 和義, 成田 圭, 加藤 加代子

場所 多目的ホール

1 単元設定の理由

【単元の見どころ】

○福富町を町外の人に知ってもらうために魅力を発信する活動と、移住者に役立つことを調べてまとめる活動を計画・実践することを通して、福富町にある資源や施設などの特色やよさを理解し、収集した情報を整理して移住者の増加を目指した活動を見いだすとともに、自ら様々な視点で考え、自他のよさを生かしながら協力して取り組むことができる。

【生徒の実態】

○生徒がはじめに作成した福富町に対するイメージマップは、過去2年と比べて広がりを見せていた。その中でたくさんの項目につながっていたのは「自然」、「道の駅」、「水」、「山」といった福富町の魅力に関する項目であった。一方、「人口減少」、「少子高齢化」も多くの項目とつながっており、この課題を解決すべきであると考えている生徒が多い。昨年度も、ポスターや観光マップなど、校外に成果を発信する活動を行ってきた。そのため、今年度も「地域に発信していきたい」という思いをもつ生徒が多い。しかし、発信する内容が課題解決につながるかどうか、情報を整理・分析する力は不十分である。

【単元観】

○本単元は、福富町への移住者の増加を目指す活動を通して、福富町について、魅力や暮らしなど5つの視点で捉え直し、課題について考え、自他のよさを生かしながら、協力して課題解決に取り組む資質・能力の育成を図ることができる単元である。グループに分かれて、学習を進めていく際に、インタビューや体験活動等、地域からの協力を得ることにより、地域の特徴をより深く知るとともに、それらの特徴は人々の工夫や努力によって支えられていることに気付くこともできる。また、持続可能な社会の実現に向けての行動を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養うことができる。

【指導にあたって】

○様々な視点をもたせる工夫

課題の把握、解決に向けて、本やインターネット、聞き取り調査等からの情報収集だけでなく現地調査を行う等、具体的な活動を通して、課題を自分事として捉え、様々な視点で考えさせたい。また、他市町の実践事例等を活用し、町外や移住者の人たちの視点からも考えさせたい。そして、タブレット(Jamboard)を活用して集めた情報を整理・分析することを通して、力の育成を図りたい。

○計画の定期的な見直し、発表の場の設定

計画の見直しや発表する場を意図的に設定することで、それまでの自分たちの活動を振り返り、収集した情報を整理・分析する機会を作る。また、学校運営協議会や外部の人々に発信することを通して、客観的な視点をもたせて力の育成を図りたい。

2 単元構想ストーリー

1 年 生	2 年 生	地域との連携 体験活動・資料	生徒の意識の流れ 【自己の生き方を考える力】
	<p>○昨年度の学習を振り返り、1学年に伝える成果と課題についてまとめ、発表の準備をする。</p>		<p>○昨年度の成果と課題について、1学年に分かりやすいようまとめよう。</p>
<p>○昨年度の学習の成果と課題、事前のアンケートの集計結果から、福富町について自分たちが知っていることについて再確認する。人口減少・少子高齢化を改善するために、福富に移住してくる人を増やす必要がある。そのために、自分たちに何ができるか考え、グループで活動するためのテーマを設定する。</p>		<p><資料> 事前アンケート 集計結果</p>	<p>○福富町の課題は何だろう。(人口減少・少子高齢化・ごみ問題) ○福富町は自然が豊かで、たくさんの魅力がある。</p>
<p>○テーマごとに担当を決め、福富に移住してくる人を増やすためにはどうすればよいか、学習の計画を立てる。昨年度のグループにこだわらず、実態に即して新たなグループを編成する。</p>		<p><地域との連携> 情報源にあたる人道の駅 福富ダム</p>	<p>○福富に住むためには、どのような方法があるだろう。 ○収集した情報は正しいかどうか確認しよう。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">鷹ノ巣山</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ミコシギク</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">水福富ダム</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">商業施設</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">田舎暮らし in 福富</div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">各グループでの活動</p>		<p>しゃくなげ館 福富グラウンド 福富パークゴルフ場 福富支所 竹仁地域センター 久芳地域センター カドーレ</p>	<p>○魅力を発信して、まず他地域の人たちに福富町を知ってもらおう。 ○住みやすい福富町にするために、私たちができることはやっぴいこう。</p>
<p>○地域の方々へのインタビューや調査活動から、集めた情報の分析や検証を行い、まとめる。 ○中学校1・2年生で中間発表を行い、評価・助言し合う。</p>		<p>ラベンダーハウス ONGEE HOUSE カントリーグレイン きこりや</p>	<p>○他グループに聞いてもらって分かりにくいところを改善しよう。 ○住みやすい福富町を目指して活動することで、地域に貢献することができた。</p>
<p>○学校運営協議会の方々の前で中間発表を行う。</p> <p>○指摘をいただいた点と中間発表で学んだ他グループの実践内容を生かし、自分たちができる地域に貢献できる活動を考え、実践していく。 本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と連携し、共にできる活動を計画する。 ・福富町の魅力マップを作り、町内の様々な施設・事業所に設置してもらおう。 ・魅力を市の広報誌に掲載してもらえよう交渉する。 ・企画を支所に持ち込み、検討してもらおう。など 		<p>など</p>	<p>○自分たちの学びを、次につなげてもらいたい。 ○この活動を通して、これからの生活にも役立つ力が身に付いた。</p>
<p>○活動内容、成果と課題をまとめ、発表を通して情報を共有する。</p>			<p>○調べたことを次年度に生かせるよう整理しておこう。</p>
<p>○活動を通して身に付いた資質・能力についてまとめる。</p>			
<p>○次年度に向けて、成果と課題をまとめておく。</p>			



めざす児童・生徒像

福富の魅力を発信して他地域の人たちに福富町を知ってもらい、住みやすい福富町を目指して活動することを通して、福富の地域に誇りをもち、地域に貢献しようとする意識を高めるとともに、自らさまざまな視点で考え、自他のよさを生かしながら協力して課題解決に取り組むことができる生徒

3 単元の評価観点・評価規準

評価の観点		評価規準	
		A	B
知識・技能	① 知識	○福富町にある資源や施設などの特色やよさを <u>知り、移住者の増加につながる福富町の魅力について認識している。</u>	○福富町にある資源や施設などの特色やよさを <u>知っている。</u>
	② 技能	○移住者の増加を目指して、活動を計画し、 <u>目的意識をもって進めることができる。</u>	○移住者の増加を目指して、活動を計画し、 <u>進めることができる。</u>
	③ 探究的な学習のよさの理解	○活動を通して身に付いた資質・能力は、 <u>実現が可能となるよう粘り強く探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</u>	○活動を通して身に付いた資質・能力は、 <u>探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</u>
思考・判断・表現	① 課題の設定	○移住者の増加を目指して課題を設定し、 <u>課題の解決に向けて見通しをもって活動の計画を立てている。</u>	○移住者の増加を目指して課題を設定し、 <u>活動の計画を立てている。</u>
	② 情報の収集	○設定した課題の解決方法について、 <u>様々な方法を用いて、情報収集することができる。</u>	○設定した課題の解決方法について、 <u>情報収集することができる。</u>
	③ 整理・分析	○収集した情報を、 <u>実現可能かどうかという視点をもって相互に関連付け、移住者の増加を目指した活動を見いだすことができる。</u>	○収集した情報を整理し、 <u>移住者の増加を目指した活動を見いだすことができる。</u>
	④ まとめ・表現	○移住者の増加を目指した活動の成果と課題について <u>見る人が分かりやすいように工夫してまとめ、発表することができる。</u>	○移住者の増加を目指した活動の成果と課題について <u>まとめ、発表することができる。</u>
主体的に学習に取り組む態度	① 自己理解・他者理解	○他者との意見交流を通して、 <u>自他のよさを見付け、そのよさを生かそうとしている。</u>	○他者との意見交流を通して、 <u>自他のよさを見付けようとしている。</u>
	② 主体性	○課題解決に向けて、 <u>結論をイメージしながら、自らさまざまな視点で考えようとしている。</u>	○課題解決に向けて、 <u>自らさまざまな視点で考えようとしている。</u>
	③ 協働性	○自他のよさを生かしながら、 <u>よりよい課題解決の方法を見だし、協力して課題解決に取り組もうとしている。</u>	○自他のよさを生かしながら、 <u>協力して課題解決に取り組もうとしている。</u>
	④ 将来展望・社会参画	○移住者の増加を目指した活動を通して、 <u>これからの福富町に必要なこと、自分にできることは何か考え、地域の役に立ちたい、自分の将来をよいものにしたいと考えている。</u>	○移住者の増加を目指した活動を通して、 <u>地域の役に立ちたい、自分の将来をよいものにしたいと考えている。</u>

4 単元計画【地域探究学習のみ（全30時間）】

小単元 (時数)	小単元の目標と主な学習内容 ◎ねらい ○学習内容	評価の観点	教科・特別活動 等との関連
(2時間) 1 課題設定の準備 ※2年生のみ	◎イメージマップから福富町のことについて考え、今年度の課題を設定することができる。 ○自分たちの福富町のイメージマップより、福富町に対する自分たちの意識を確認する。 ○昨年度調べた福富町の魅力とその課題について、1年生に伝える準備をする。 ○次の授業での運営・司会の準備を行う。	知①	
2 導入・課題設定 (2時間)	◎福富町についてあらゆる角度から考え、今後の活動の見通しをもつことができる。 ○自分たちの福富町のイメージマップより、福富町に対する自分たちの意識を確認する。 ○昨年度調べた内容を1年生に伝える。 ○今年度の課題、テーマについて考える。	主②	
3 展開① 整理・分析、 活動(14時間)	◎各グループで担当したテーマについて、「福富に住もう」を意識した活動を計画し、実践することができる。 ○希望に沿ってテーマごとにグループ分けをする。内容の精選を図り、活動の方向性を決める。 ○収集した情報を整理・分析し、課題の解決のため、今後の活動を計画することができる。 ○「福富に住もう」を意識した活動を計画、実践する。	思① 知② 思② 思③ 主③ 主①	<中1・2 道徳> C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 <中2 国語> 郷土のよさを伝えよう —「地域の魅力」の紹介文
(2時間) 4 表現 展開②	◎中間発表を行い、発表内容の改善を図る。 ○他のグループからの意見を聞き、よりよい発表となるよう工夫する。	思④	<中2 社会> 中国・四国地方 <中1 英語> Project 2 英語のタウンガイドをつくらう
(2時間) 5 表現 展開③	◎学校運営協議会の方々に発表を聞いていただく。 ○地域から活動についての意見をいただき、今後の活動に生かす。	思④	
(7時間) 6 発信 展開④	◎「福富に住もう」を実現するため、どのように発信すればよいのか考え、実践することができる。 ○より効果的な発信方法を考え、計画を見直す。(本時) ○見直した計画を実践する。 ○まとめを発表し、他のグループと情報を共有する。	主③ 主④	
(1時間) 7 振り返り まとめ	◎「福富に住もう」を通して、どのような力が身に付いたのか、振り返ることができる。 ○身に付いた資質・能力についてまとめる。	知③	
※1年生のみ (2時間) 8 次年度へ	◎次年度に向けて、後輩に伝えるために活動内容をまとめることができる。 ○「福富に住もう」の取組で行ってきたことをまとめ、次年度につなげる準備を行う。	知①	

5 本時の目標

これまでの活動を振り返って、「福富に住もう」を実現するため、自分たちにできることは何か考え、実践に向けて計画や方法を検討することができる。

6 本時のルーブリック

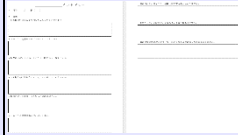



A	B
<p>☆自他のよさを生かしながら、よりよい課題解決の方法を見だし、協力して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>・みんなの考えの中では、学校運営協議会の方の助言を生かしている△△がいいと思う。</p> <p><みんなの考えの中で、どの考えが課題解決に向けて妥当か、根拠をもって考えている。></p>	<p>☆自他のよさを生かしながら、協力して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>・私の考えは〇〇で、Bさんの考えは□□だったよね。この考えで計画を立ててみよう。</p> <p><みんなの考えを生かして、協力して課題解決に取り組もうとしている。></p>

7 学習の流れ

学習活動と主な発問 (○)	指導上の留意事項 (◇)
	◆努力を要する状況と判断した児童・生徒への指導と手立て
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「福富に住もう」を実現するため、自分たちにできることは何か考え、これからの活動を計画することができる。</p> </div> <p>2 本時の授業の流れについて板書で確認する。</p> <p>○学校運営協議会の方にいただいた助言は何だったろう。</p> <p>○これからどのようなことを行えば、「福富に住もう」をよりよく達成できるか。</p> <p>○実現は可能だろうか。(時間・お金など)</p> <p>3 グループごとに協議を行う。</p> <p>○今後の活動について考え、計画してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の方の助言をどのように生かすか? ・変更すべきこと、継続すべきことにはそれぞれどのようなものがあるか? ・活動によってどのような変化が予想されるのか? ・その活動を実現するために、何が必要か? <p>4 協議した内容について、他のグループと共有する。</p> <p>5 振り返りをする。</p>	<p>◇タブレット (Jamboard) を活用し、自分たちの思考を可視化させる。</p> <p>◇整理・分析する手立てとなるよう、分析する視点を明確にして取り組ませる。</p> <p>◆意見をもつことが難しい生徒には、振り返りやメモ書きなどを確認させ、これまで行ってきた取組の課題は何か考えることができるようにする。</p> <p>☆自他のよさを生かしながら、協力して課題解決に取り組もうとしている。(主③行動観察, 振り返り)</p> <p>◇①これまでの取組, ②助言により変更すること, ③これからの活動計画の3点に視点を合わせて発表することで、他グループと比較し、次時に何をすべきか明確にさせる。</p> <p>◇他のグループの生徒に分かるように、伝え方を工夫するよう意識させる。</p>

中学校 1・2 年生 「福富に住もう」

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月以降
鷹ノ巣山	課題の設定・テーマ決めグループ編成	<ul style="list-style-type: none"> ・鷹ノ巣山について調べる。 ・活動計画をたてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鷹ノ巣山に生えている植物を調べる。 ・山を利用した町づくりをしている所はどんな事しているか調べる。 		<ul style="list-style-type: none"> ☆実際に2つある登山道の1つを登る。 ・実際登ってどうだったか、これからどうするか計画をたてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一つのルートに登る。 ☆活動計画をたて福富支所に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆広島森林管理所と連携しプランコ・フォトフレームを作る計画を進める。 	
ミコシギク		<ul style="list-style-type: none"> ・ミコシギクについて理解する。 ・活動計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めてのミコシギク自生地の観察。(実際にミコシギクを見た。) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自然史博物館への準備・発表。(これまでの活動やこれからの予定について発表した。) ・情報を整理し、改めて活動計画を立てる。 	<p>中間発表・課題の再検討と計画の立案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミコシギクの標本をつくる。 ・自生地の本数調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミコシギクの種をまき、育ち方を観察する。 ・自生地の草を刈る。 	
水（福富ダム）		<ul style="list-style-type: none"> ・ダムを調べる。 ・福富ダムについてのインタビュー内容を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆福富ダムを見学し、ダムについてインタビューする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な目標を考える。 ・他市町のダムで行われているイベントを調べ計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福富ダムの監査廊を活用し地域振興を目指す。 ☆他市町の日本酒を貯蔵したダムの職員の方にインタビューを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆福富ダムと連携して監査廊に日本酒を貯蔵する計画を進める。 		

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月以降
商業施設	課題の設定・テーマ決め グループ編成	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設グループとしてのテーマを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 福富町内の商業施設へのインタビュー内容を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆インタビュー活動を実施する。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>～ご協力頂いた商業施設～ ヘアサロンサニー、今朝丸美容院、 Yショップふるかわ、ONGEE HOUSE、 スドウ雑貨店、シャジャガーデン、くろぼや、 酵素風呂～雅～、福富物産しゃくなげ館、 道の駅 湖畔の里福富、 上ノ原牧場 有限会社カドーレ</p> </div> 	中間発表・課題の再検討と計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> インタビューの集計・考察する。 今後の活動についての検討する。 	学校運営協議会の方々への発表	<ul style="list-style-type: none"> ☆町内で協力させてもらう商業施設探し、その施設や福富町の活性化のために活動する。 
田舎暮らし in 福富		<ul style="list-style-type: none"> 福富町の暮らしを知ってもらうためのパンフレット作成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜作りと暮らしに役立つお店について紹介することを決める。 他市町のパンフレットを参考にしてパンフレットのイメージを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み中にジャムボードを用いて、準備を進める。 		<ul style="list-style-type: none"> ☆JA グリーンセンターにインタビューに行く。 		<ul style="list-style-type: none"> ☆本田商店、石川商店にインタビューに行く。 

テーマを決めよう!

事前のアンケート集計結果等から、福富町について知っていることについて再確認する。そして、人口減少・少子高齢化を解決に向け自分達は何ができるか考え、テーマを決定する。



学校運営協議会の方々に発表しよう!

学校運営協議会の方々に、今までの探究的な学習の成果を聞いていただく。そして、いただいた助言を生かして、より実効性が高くなるよう、方法や計画を見直し、改善していく。



<主体性を育む取組> 様々な視点をもたせる工夫

課題の解決に向けて、本やインターネット、聞き取り調査等からの情報収集だけでなく、現地で実際に調査を行う等の具体的な活動を行うことで、課題を自分事として捉えることができ、解決に向けて積極的に取り組んでいく姿が見られた。また他市町の実践事例等を活用することで、町外や移住者の視点から課題について考えることができた。

<協働性を育む取組> 異学年集団を生かした活動

中1・2学年は、昨年度は違うグループで活動を行ってきた。違った視点で学習してきた経験を生かすことで、課題に対する自分なりの意見をもつことができた。その意見を交流することで、協働性を育みながら課題解決に向かうことができていた。また、上級生はリーダーシップを発揮し、下級生に積極的に関わる姿が見られた。